

# いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成 22 年度いのちの教育総合支援事業

## 「優しさの研究」(総合的な学習の時間)

射水市立奈古中学校 1～3 学年生徒  
平成 22 年 6 月 17 日実施

## 【いのちの先生】

木谷 泰子先生  
・木谷総合学園副理事長

### 【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の紹介
- 2 いのちの先生の話
- 3 生徒代表 感謝の言葉
- 4 授業の感想の記入

### 「優しさの研究」をお聞きして (1 学年生徒)

話を聞いていると、感動して涙があふれてきました。なぜか話を聞いていると、その一つ一つが矢となって心に突き刺さってきました。特に、「人に優しくすれば、周りに人がいっぱい集まってくる」という先生の言葉が印象に残りました。

はっきり言うと、先生の話聞いて「やっと、自分を変えられる人に出会えた」と心の中で思っていました。確かなことは、ぼくの心に地震が起きたということです。先生の言葉でぼくは変わろうとしている。素直になろうとしている。自分らしく生きていこうとしている。今生き生きしている自分がある。ぼくに変化が起きている。

生きているのがうれしい。そのように思えたのは、先生の言葉のおかげです。



### 「優しさの研究」をお聞きして (1 学年生徒)

私は、木谷先生の「いのち」に関するいろいろな体験談やお話を聞いて、「ありがとう」「ごめんなさい」という言葉の大切さを強く感じました。

心から「ありがとう」と言うことはとても大事なことです。「ありがとう」に自分のたくさんの思いを込めて伝えられたらいいと思いました。「ごめんなさい」は「ありがとう」よりも大事な言葉だと思いました。わけは、「ごめんね」「いいよ」「ありがとう」というように、「ごめんなさい」の一言から、会話がつながります。会話によって、友達ともっと仲良くなれると思います。

これからは、会話の中で「ありがとう」「ごめんなさい」を大切にしていこうと思いました。木谷先生、大切なお話を聞かせていただいて、ありがとうございました。